

2025年2月10日
日研トータルソーシング株式会社

東京 e スポーツフェスタ 2025 に登壇 「e 部活」の取り組みや、企業での e スポーツ活用、人材育成について発表

多様な人材を人的資本と捉え、人材ソリューションで可能性を創造する「人的資本創造企業」の日研トータルソーシング株式会社（本社：東京都大田区）は、1月10日に東京ビッグサイトで開催された「東京 e スポーツフェスタ 2025」に登壇し、e スポーツを活用した社員交流の取り組みを発表しました。当社では、今後も e 部活や、TOPPAN 株式会社との業務提携を通じて、社内外のコミュニケーション活性化や社内のエンゲージメント向上に取り組んでまいります。



東京 e スポーツフェスタサイト URL : <https://tokyoesportsfesta.jp/>

■東京 e スポーツフェスタ参加の背景

当社では、2022年に設立した「e 部活」を皮切りに、e スポーツの取り組みを拡大してきました。当社の派遣スタッフは、職種も様々で就業場所も派遣先での業務になるため、日々の業務では社内交流が生まれづらい状況にありました。こうした背景から、社員同士のつながりを深めることを目的にスタートした e スポーツをテーマにした部活動「e 部活」は、活動当初の143名から約3.5倍に増加し、現在では約500名規模の部活動に成長しています。

また、過去に当社で製造スタッフとしても働いており、現在は e スポーツプレイヤーとして活躍するチクリン選手との交流会の実施や、TOPPAN 株式会社との業務提携、社会人 e スポーツリーグ「AFTER 6 LEAGUE™」に参戦するなど、社内外での交流に積極的に取り組んでいます。

今年6回目の開催となる「東京 e スポーツフェスタ」は、e スポーツを通じて新たな産業創出等を目指すイベントとして注目されています。このたび、社内コミュニケーション・エンゲージメントを活性化する手段として、e スポーツを活用してきた当社の取り組みが評価され、同イベント内でのメインステージでの登壇が実現。当日は、「e スポーツが生み出す企業の絆」をテーマに、当社の製造事業部 人材育成課課長 中野が登壇し、当社のこれまでの取り組みについて発表したほか、パネリストの他企業らと e スポーツの企業内での活用について意見を交わしました。

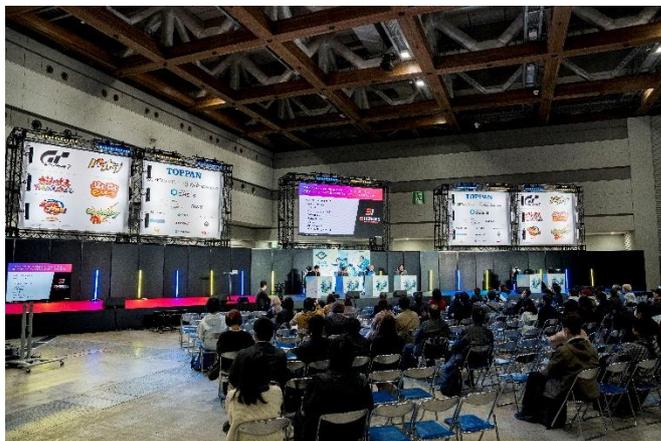
■東京 e スポーツフェスタでの登壇内容

登壇テーマは「e スポーツが生み出す企業の絆」。パネリストとして、当社製造事業部 人材育成課課長 中野より、社内部活「e 部活」の取り組みを紹介しました。

少子高齢化や製造業離れなどの人手不足の課題や、人材サービス業ならではの「社内交流を生みづらい課題」の解決のために開始した、「e 部活」は、のべ参加者数は約 100 名、部員数 500 名規模の部活動に成長し、働く場所や部署、年次を超えた交流の場に成長しています。さらに、「e 部活があること」を承諾理由にする新卒内定者も増えるなど、社員のエンゲージメント向上にも寄与しており、企業が e スポーツを取り入れる際の課題や、導入後の成果について発表しました。

また、同じくパネリストとして登壇した小林 実氏（群馬県産業経済部 e スポーツ・クリエイティブ推進課主任）、園部 英一郎氏（TOPPAN 株式会社 情報コミュニケーション事業本部 e スポーツプロジェクト）らとともに、社内での e 部活の導入や運用にあたっての工夫や、e スポーツプレイヤーの社内育成の可能性について、意見を交わしました。

登壇内容アーカイブ映像：<https://www.youtube.com/live/mgPimwdUmxI>



■これからの取り組み内容と展望

今後も当社では e スポーツの取り組みをさらに広げ、働きやすい職場環境づくりを目指してまいります。また、社会人 e スポーツリーグ「AFTER 6 LEAGUE™」を入口に、他企業や地域コミュニティとの連携も強化し、社外との交流・情報発信を強化していきます。

■日研トータルソーシングについて

「人的資本創造企業」として業種や職域の枠組みを超え、様々な領域で活躍する人材を「人的資本」と捉え、人材ソリューションを通じて働く人・企業・社会の可能性を創造していきます。

【会社概要】

設立	1981 年 4 月
本社所在地	東京都大田区西蒲田
代表者	清水 浩二
事業内容	総合人材サービス（業務請負事業／人材派遣事業／人材紹介事業）